

政策	5章 政策3	商工業・観光業を活性化させる	
主管課	観光・スポーツ振興課	関係課	商工水産課、農政課

1. 政策の方針・指標・関係者の意見等

(1) 政策の対象と方針

対象	政策の方針
商工業者、観光事業者、その他サービス事業者	商工業・観光業では、既存商店街の活性化を図るとともに、新たな物流団地等を整備をすることにより、さらなる発展を目指します。また、南部地域を訪れる人々に本市の魅力をより楽しんでもらうために、糸満市観光文化交流拠点施設「くるる糸満」を新たな観光の核として交流人口の拡大を図り、広域連携による滞在型観光が充実できるよう取り組みます。

(2) 政策の基礎的データとなる指標

基礎的指標		単位		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	商工会会員数	事業所	見込値					1,250	1,250	1,250	1,250
			実績値	1,299	1,200	1,200	1,250	1,250	1,248		
②	観光協会会員数	事業所	見込値					145	145	92	102
			実績値	128	129	131	143	143	82		
③	市内事業者数（センサス数）	事業所	見込値								
			実績値				2,138	2,416	-		

(3) 総合計画等の指標の目標値・見込値・実績値及び施策コスト

(3) 総合計画等の指標の目標値・見込値・実績値及び施策コスト							前期基本計画期間					
指標区分		指標	単位		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 (前期目標値)
A	総合計画 (総合戦略)	新規創業・進出企業数	社/年	目標値					116	117	118	118
				見込値					116	117	118	118
				実績値	112	101	109	129	141	145		
B	総合計画	主要観光施設等入館者数	人	目標値					1,425,000	1,450,000	1,475,000	1,500,000
				見込値					773,000	1,200,000	1,350,000	1,500,000
				実績値	1,324,746	1,288,524	363,462	380,565	885,394	1,113,628		
C	総合計画 (総合戦略)	市内主要ホテルの観光客延べ宿泊者数	人	目標値					400,000	580,000	590,000	600,000
				見込値					334,000	540,000	570,000	600,000
				実績値	296,608	235,913	74,070	112,872	340,869	463,145		
D	総合計画	市内主要ホテルの観光客延べ宿泊者数（うち外国人）	人	目標値					91,000	96,000	98,000	100,000
				見込値					3,000	33,000	67,000	110,000
				実績値	87,291	49,991	107	23	10,626	50,167		
E	総合計画	市内民泊延べ宿泊者数	人	目標値					8,110	8,740	9,370	10,000
				見込値					470	2,340	2,340	2,340
				実績値	5,639	7,220	170	144	918	1,581		
F	総合戦略	産業分野のIoT活用事業数（累計）	事業	目標値					2	3	4	5
				見込値					2	3	3	3
				実績値	-	2	2	2	2	2	3	
G	総合戦略	産業分野の専門人材活用によるセミナー、フォーラム等の市内開催件数	件	目標値					9	10	11	12
				見込値					9	10	11	12
				実績値	-	0	0	0	13	17		
H				目標値								
				見込値								
				実績値								
施策コスト 施策に関係する事務 事業の合計額		事業費		千円				68,001	95,290	70,753	0	0
		国・県支出金		千円				10,303	27,156	21,343		
		地方債		千円				0	0	0		
		その他		千円				23,154	24,719	11,437		
		一般財源		千円				34,544	43,415	37,973		

※令和4年度以前の数値については、把握できるもののみ入力。

(4) 総合計画等の指標の設定理由及び目標値・見込値の考え方

A	総合計画（総合戦略）	新規創業・進出企業数
	設定理由	企業の市内立地促進の観点から、新規創業・進出企業数(新規申告法人数)を把握する。(税務課資料)
	目標値	毎年100社を超える新規申告法人があることから、平成30年度実績値を基準として毎年前年比1社増加を目指す。
	見込値	近年の実績値を踏まえ、110～120件程度が続くと見込む。
B	総合計画	主要観光施設等入館者数
	設定理由	交流人口拡大の観点から、主要観光施設等入館者数(平和祈念資料館、ひめゆり平和資料館、観光農園、美々ビーチなど市内主要観光施設における入館者数)を把握する。（観光・スポーツ振興課資料）
	目標値	平成30年度実績値を基準として、毎年度前年比25,000人の増加を目指す。
	見込値	令和4年度の実績値に加え、くるる糸満を含む施設利用者が増加すると見込む。令和6年度以降は、令和元年度並みに回復していくと見込む。
C	総合計画（総合戦略）	市内主要ホテルの観光客延べ宿泊者数
	設定理由	滞在型観光の充実の観点から、宿泊者数を把握する。(事業者報告等)
	目標値	平成30年度の実績値30万人に加えて、新たな大型ホテルの30万人を加えた60万人を目指す。
	見込値	インパウンドの需要を取り込み、目標値達成を見込む。
D	総合計画	市内主要ホテルの観光客延べ宿泊者数（うち外国人）
	設定理由	滞在型観光の充実の観点から、外国人宿泊者数を把握する。(事業者報告等)
	目標値	平成30年度の最高値8.7万人を参考に、新たな大型ホテルの5.24万人を加えた10万人を目指す。
	見込値	インパウンドの需要を取り込み、目標値を達成できると見込む。
E	総合計画	市内民泊延べ宿泊者数
	設定理由	滞在型観光の充実の観点から、民泊の宿泊者数を把握する。(糸満市観光協会資料)
	目標値	平成30年度の実績値5,600人を基準として、毎年度前年比約600人の増加を目指す。
	見込値	修学旅行の需要が伸び悩み、令和5年度と同様の数値を見込む。
F	総合戦略	産業分野のIoT活用事業数（累計）
	設定理由	企業収益向上に向けたICT活用の観点から、産業分野においてIoTを活用して実施された事業の件数(累計)を把握する。(商工水産課資料)
	目標値	(農政:1件) 令和4年度にキュウリの施肥と水やりにおいてIoT活用する実証実験を行っている。 (水産:1件) 糸満市水産業振興センターにIoTの導入を予定している。
	見込値	(農政:1件) 令和4年度にキュウリの施肥と水やりをIoT活用する実証実験を行っている。 (水産:1件) 糸満市水産業振興センターの海ブドウ養殖施設にIoT機器(海水の給排や高濃度CO2添加など)の導入を予定している。
G	総合戦略	産業分野の専門人材活用によるセミナー、フォーラム等の市内開催件数
	設定理由	企業収益向上に向けた外部人材活用の観点から、産業分野の専門人材を活用して実施したセミナー、フォーラム等(民間・行政含む)の開催件数を把握する。
	目標値	令和5年度商品プロモーション事業(EC等)で実施予定のセミナー等開催が5件、民間4件を想定。令和6年度以降は事業終了のため、民間での開催を想定する。
	見込値	令和5年度商品プロモーション事業(EC等)で実施予定のセミナー等開催が5件、民間3件を想定。令和6年度以降は事業終了のため、民間での開催を想定する。
H		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	

(5) 環境変化（個別計画策定状況、近年・今後の外部環境の変化等）

・燃料費高騰による物価高騰やバス運転手不足等が原因で沖縄への修学旅行者が減少している。  
・令和7年度から、糸満市観光協会が糸満市観光文化交流拠点施設「シャボン玉石けんくくる糸満」の指定管理に加わった。  
・沖縄県では、令和8年度から宿泊税が導入されることが決定した。  
・観光客のA T（アドベンチャーツアー）への需要が向上している。  
・令和6年4月の台湾地震における津波避難の経験から、観光客の安全確保に向けた危機管理体制の構築が求められている。  
・令和7年7月に北部の大型観光施設「ジャングリア」の開業により、沖縄の観光需要の増加が見込まれる。

(6) 関係者の意見・要望

・道の駅いとまん管理組合から、老朽化している24時間トイレの改修・新設の要望がある。  
・市議会から、くくる糸満常設展示場へのVR機器の導入について要望がある。  
・市議会や市民から、宿泊税導入に関する方針について問い合わせが増加している。

2. 政策の実績評価

(1) 令和7年度（前期目標値）の指標の達成見込み

指標A	総合計画（総合戦略）	【 新規創業・進出企業数 】					
<input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み） <input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり <input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難							
理由	沖縄県は、開業率・廃業率が高い。コロナ禍を経て経済の回復基調に伴い、新規創業が増加したと考えられる。						
指標B	総合計画	【 主要観光施設等入館者数 】					
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み） <input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり <input checked="" type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難							
理由	県内入域観光客の増加に伴い主要観光施設等の入館者数も増加しているものの、修学旅行生の大幅な減少や主要観光施設等の来場者数の減少等により、目標達成は困難と見込む。						
指標C	総合計画（総合戦略）	【 市内主要ホテルの観光客延べ宿泊者数 】					
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み） <input checked="" type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり <input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難							
理由	2024年の県内観光客数は966万人と過去3番目の多さを記録し、2025年も引き続き好調な伸びが予想される。糸満市においては、西崎運動公園の機能強化等により、スポーツ合宿や大会などのスポーツコンベンション誘致が活発化し、これに伴う観光客の増加が見込まれ、もって宿泊者数の増加が見込まれる。宿泊税の導入や新たな感染症の発生など不確定な要素も多数存在するが、目標達成の可能性はあると考える。						
指標D	総合計画	【 市内主要ホテルの観光客延べ宿泊者数（うち外国人） 】					
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み） <input checked="" type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり <input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難							
理由	「指標C」と同じ。						
指標E	総合計画	【 市内民泊延べ宿泊者数 】					
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み） <input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり <input checked="" type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難							
理由	コロナ禍以降、民泊事業者の減少や教育旅行の縮小等により、目標達成は困難と見込む。						
指標F	総合戦略	【 産業分野のIoT活用事業数（累計） 】					
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み） <input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり <input checked="" type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難							
理由	海水の取水など種々の課題があることから、糸満市水産業振興センターの建設の目途が立っていないなど、目標達成は困難と見込む。						
指標G	総合戦略	【 産業分野の専門人材活用によるセミナー、フォーラム等の市内開催件数 】					
<input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み） <input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり <input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難							
理由	市の関係事業や商工会によるセミナー等の開催をもって、目標達成を見込む。						
指標H		【 】					
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み） <input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり <input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難							
理由							
指標の数	7指標	うち現在の計画、取り組みにより目標達成見込み	2指標 (28.6%)	うち新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	2指標 (28.6%)	うち現在の想定では目標達成が困難	3指標 (42.9%)

(2) 前年度比較（令和4年度の市の取り組み・成果との比較）

評価	成果がどちらかと言えば向上した	【5段階評価】 かなり向上～どちらかと言えば向上～ほとんど変わらない～どちらかと言えば低下～かなり低下
理由	県内観光の回復に伴い、観光指標に係る指標すべてにおいて前年度を上回っている。	

(3) 他自治体との比較（令和5年度の実績の県内他市等との状況比較）

評価	他自治体と比べてほぼ同水準である	【5段階評価】 高い水準～どちらかと言えば高い水準～ほぼ同水準～どちらかと言えば低い水準～低い水準	比較対象	県内11市
理由	2024年は県内入城観光客数は966万人と過去3番目に高く、県内観光は回復傾向にある。本市においては、空港からのアクセスが良好なことや、ホテル等の観光施設の立地状況の他、スポーツコンベンション（スポーツキャンプ、合宿、イベント等）の実施状況から、他市とほぼ同水準と考える。			

3. 政策を推進する上での現状と課題及び今後の取組方針

(1) 令和6年度の現状（令和5年度の実績を踏まえた政策（施策の展開）の取り組み）

・令和6年度は市が開催するセミナー等がないため、民間での実施のみとなる。  
・糸満市観光文化交流拠点施設「シャボン玉石けん くくる糸満」常設展示の来場者数が38, 598人と、前年度17, 947人から大幅に増加している。本市観光の新たな魅力となっている。  
・第2次糸満市観光振興基本計画の策定に向け、近隣自治体の策策定状況や具体的な施策内容について調査を行った。また、第1次計画の各種施策における達成状況について、評価をまとめた。  
・今後のインバウンド増加を見据え、令和5年度に観光協会において「帆掛けサバニアドベンチャーツアー」の商品開発に着手。令和6年度に販売体制を確立し、同ツアーを実施した。参加者から好評を得ている。  
・シャボン玉石けん くくる糸満の常設展示に人気V T u b e r「根間うい」によるAR音声解説「ういなび!」を導入した。日本語に加え、英語と中国語にも対応しており、多くの人が展示を楽しめるよう環境整備した。  
・第34回いとまんふるさと祭りでは、2日間で延べ2万3千人の来場者があり、多くの市民や観光客でにぎわった。

(2) 令和6年度の課題（政策（施策の展開）を推進する上での課題）

・第1次糸満市観光振興基本計画の各種施策の達成状況評価に時間を要し、糸満市観光まちづくり協議会における評価検証を実施できなかった。  
・糸満市観光危機管理計画に基づく、観光関連事業者と連携した避難訓練等が実施できていない。  
・道の駅いとまんの24時間トイレの老朽化に伴い、管理組合から改修・新設の要望がある。  
・くくる糸満の常設展示の多言語対応ができていない。  
・糸満ふるさと祭りでは、糸満市の物産品販売が少ないなど、糸満市ならではの出店や催しが求められている。

(3) 令和7年度を取組方針（令和6年度の現状・課題を踏まえ、令和7年度に優先的に取り組む予定のもの）

・第2次糸満市観光振興基本計画の策定に当たり、糸満市まちづくり協議会を設置し、第1次計画の評価、第2次計画の施策方針及び本市における宿泊税導入の方針等について検討を行う。  
・観光危機管理計画に基づく避難訓練等の実施に向け、沖縄県が主催する危機管理計画の研修等に職員を派遣する。観光関連事業者と連携した訓練等については、令和8年度実施予定。  
・老朽化に伴う道の駅いとまんの24時間トイレの改修・新設について、利用者の利便性向上と衛生環境の改善を図るため、道の駅施設管理組合、国（沖縄総合事務局）との協議を進める。  
・糸満ふるさと祭りの市民文化活動発表機会の場の創出という目的については、糸満市観光文化交流拠点施設「シャボン玉石けん くくる糸満」の整備により一定程度達成できる見込みであることから、令和7年度の実施については休止する。令和8年度以降の開催については、第2次糸満市観光振興基本計画策定における糸満市まちづくり協議会において、祭りの在り方、必要性等について協議する。